



トップメッセージ

代表取締役社長 **佐々木 朗**

中期経営計画の達成状況と今後の方針

当社は、強みである「顧客からの信頼」、「高効率な生産・販売」、「優れた環境管理」などをより一層活かし確固たる経営基盤を構築することを目的に、長期ビジョンを設けその達成に取り組んでいます。その長期ビジョンのFirst Stageである最初の3年間で「環境急変対応の基盤固め」と位置づけ、中期経営計画であるPAMCO-30を策定し、2016年度から活動を開始しました。

PAMCO-30で掲げた各施策について一歩ずつ着実に進めていますが、中間年度である2017年度は、当初想定した市場環境とは異なり、LME (London Metal Exchange : ロンドン金属取引所) ニッケル価格の低迷等の影響により、苦しい経営環境となりました。しかし、そのような状況においても、PAMCO-30で掲げた「収益性の強化」に重点を置き、種々の施策を実行した結果、約15億円のコスト削減を実現することができました。その要因としては、全社一丸となって高効率操業の継続・安定化、徹底したエネルギー管理に努めたことが挙げられます。

2018年度は、PAMCO-30の最終年度であり、基盤固めの総仕上げと考えています。当社の持つ強みをさらに活かし、企業価値向上を強く意識した取り組みを実施していきます。

そのなかでもESG (環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance)) の活動は重要と位置付け、継続的に取り組んでいきます。

一方で、進捗の遅れている活動もありますが、次期中期経営計画に繋がるよう、以前にも増して積極的に取り組むことで、活動を加速させていきます。

持続可能な社会の実現に向けて

国連において持続可能な開発目標「SDGs」が採択され、非鉄金属業界は国から「資源の有効活用」や「廃棄物の削減」について期待されています。これらの目標は、当社の経営理念と密接に関連しており、当社が最も貢献できる分野であると強く認識しています。

希少金属であるニッケルは、ステンレス原料だけでなく

電気自動車に搭載されているリチウムイオン電池等にも利用されていることもあり、世界的に需要が高まっていますが、ニッケル含有率の高い高品位の鉱石は減少しています。

当社は、独自の高い製錬技術により、鉱石に含まれるわずか1.8%程度のニッケルを高い歩留りで抽出することで、ステンレスの原料であるフェロニッケルを製錬し、社会へ供給しています。さらに、副産物であるフェロニッケルスラグは、環境に優しい土木用資材として路盤材等の公共資材に有効活用されています。フェロニッケルスラグはLCA (Life Cycle Assessment) の結果、天然資材と比較しても優位性があることが証明されています。当社は全量を再資源化しており、資源の有効活用に大いに寄与していると考えています。

また、廃棄物リサイクル事業にも取り組んでおり、あおりエコタウン事業に参画し、埋立処分されていた燃え殻、汚泥を溶融スラグとして再資源化することで、地域の廃棄物の削減に取り組んでいます。溶融スラグを使用した製品は、青森県リサイクル製品に認定されるなど、循環型社会の形成にも寄与しています。

ステークホルダーから信頼される企業となるために

当社は、地域の主力企業であることを認識し、法律で定められている規制基準よりも厳しい自主基準を定め、その



達成を継続しています。また、第5次青森県環境基本計画にて事業者へ期待されている「廃棄物処理法など関係法令の順守による廃棄物の適正処理」や「大気汚染や悪臭防止等に関する法令の順守」については、これまでも対策を強化してきた事項の一つであり、法令順守や廃棄物抑制の重要性についての社員教育も徹底しています。

さらに、地域の方やステークホルダーの皆様に対して、環境・社会報告書や産業廃棄物の処分状況、法令順守状況についてホームページ等により積極的に情報開示しています。今後も当社の取り組みの透明性を確保し、一段と環境に配慮した事業活動を進めていきたいと考えています。

働きがいのある企業を目指して

当社の事業活動上、最も重要な資源は人財です。その力をより高めるため「技術力・現場力の強化」をPAMCO-30の重要課題とし、人事制度の見直しを検討してきました。2018年度から新しい人事制度として展開します。

その目的は事業の成長・発展に寄与することはもちろんですが、全社員がやりがい、生きがいをもって活動できる環境づくりを目指しています。

まだ新制度に移行したばかりであり戸惑うこともあるかと思いますが、一方的な制度の押しつけではなく、社員との対話を通じて柔軟に進めていくことで、透明性のある公平な人事制度にしたいと考えています。

社員一人ひとりが目的意識を持ち、これからの事業活動により積極的に取り組むことで、現在の厳しい環境を乗り越えていけると確信しています。

ニッケルを材料とするステンレスは、建物や鉄道、水道管などに使用されており、現代社会に不可欠な素材です。このニッケルを生産する当社は、事業を継続し、社会に貢献していくために、誠心誠意、環境負荷削減に取り組み、さらにその情報を開示し、地域や社会の皆様から信頼される企業であり続けるため努力をしていく所存です。